



平成 27 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社雑貨屋ブルドッグ
代表者名 代表取締役 久岡 卓司
(JASDAQ・コード3331)
問合せ先 取締役 細見 克行
(TEL. 06-6260-5505)

株式会社雑貨屋ブルドッグとアクサス株式会社の株式移転による 経営統合に関する基本合意書締結に関するお知らせ

当社は、会社法第 370 条の規定により、本日付の取締役会の書面決議によって、当社とアクサス株式会社（以下「アクサス」といいます）が、平成 28 年 3 月 1 日を設立日（予定）として、下記のとおり共同株式移転の方法に基づく完全親会社（共同持株会社）の設立（以下「本株式移転」といいます）による経営統合について協議を開始することを決議し、アクサスと基本合意書（以下「本基本合意書」といいます）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本株式移転による経営統合の背景及び目的

日本経済はアベノミクスの経済対策、成長戦略などを背景に、大企業の業績や高額商品の売上を中心に穏やかな回復基調を辿っているものの、17 年振りの消費税の増税の影響もあり、消費者の家計所得の伸び悩み懸念や生活防衛意識から、本格的な個人消費支出にはまだまだ力強さを欠き、当社が属する業界の環境は依然として不透明な厳しい状況が続くものと予想されます。

当社は平成 25 年 4 月 15 日に公表しました「アクサス株式会社との資本業務提携等に関するお知らせ」に記載のとおり、当社とアクサスとの間で、当社の事業発展を目的として①商品の相互供給、②物流拠点の相互活用、③店舗出店、④人材交流について積極的な施策を実施することを企図し資本業務提携を結びました。同お知らせに記載のとおり、アクサスは、「チャーリー」「アレックス」等の店舗名で、西日本を中心に約 40 店舗を展開する、「美・健康・ゆとりなどの側面からお客さまの暮らしの質的向上を応援する」をミッションとして、特色ある店づくりにより、化粧品、生活雑貨、スポーツギア、アウトドアギア、酒類等の小売及び酒類、化粧品等の輸入卸を主たる事業とする企業です。当社はアクサスから当社の基本コンセプトに合致した商品群の供給を受けることで、より一層安定した顧客基盤の確立につながると期待し、また、商品供給にとどまらず、店舗出店戦略においてもアクサスの店舗運営ノウハウを受け入れることで雑貨業界における他社優位性強化を図るため、各施策案の検討を同時期より開始いたしました。なお、アクサスは上記の資本業務提携に基づき、発行済株式総数の 32.14%（平成 27 年 2 月 28 日現在）を保有し、当社を関連会社としております。

しかしながら、平成 25 年 9 月 13 日に公表しました「適切な会計処理が行われていなかった疑義に関する調査のための第三者委員会設置のお知らせ」に記載のとおり、たな卸資産に関して不適切な会計処理が行われていた疑義が発生し、第三者委員会による調査を含むその後の調査で過去 5 年間にわたりたな卸資産の架空計上を含む不適切な会計処理がなされていたことが判明し、平成 25 年 12 月 20 日に過去 5 年間の決算短信を訂正、その後、再発防止のために東京証券取引所へ改善報告を実施してまいりました。これら一連の対応のために当社リソースの大部分を割かざるを得ない状況が続き、誠に遺憾ながらアクサスとの協業効果についてはその発現が遅延いたしました。

その後、平成 26 年 5 月 12 日に公表しました「中期経営計画策定のお知らせ」に記載のとおり、平成 28 年度の中期経営計画を達成すべく役職員が丸となり、またアクサスの協力も得ながら、在庫過多の是正、積極的な業態転換、業績改善が見込めない不採算店舗の撤退、マーチャンダイジングの刷新等により更なる企業価値の向上に取り組んでまいりました。小売業界全体におきまして、訪日外国人の増加に伴う消費増や、消費の追い風が期待される賃上げや株高による資産効果が一部であったものの、その波及は限られ、当社が属するファッション雑貨小売業界は依然として厳しい環境であり、消費者の購買意欲が依然低調に推移いたしました。併せて、売上が最も増加する 12 月度のクリスマス商戦におきまして大寒波による悪天候によりご来客数が鈍り、予想を大幅に下回る結果となり、平成 27 年 8 月期の赤字見通しがさらに拡大する状況となっております。当社は本日併せて公表しております「経営合理化の取り組みおよび特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、不採算事業所の撤退、優良店舗の販売強化及び残存資源の有効活用等、当事業年度において一層踏み込んだ改革を図り、赤字体質から脱却し、黒字化を達成するための合理化を実施することを予定しております。ここで、当社が当該合理化を実施後により一層企業価値を高めていくためには、アクサスとの提携効果をさらに発揮することが必要であると判断しております。アクサスとの提携効果をこれまで以上に発揮するためには、両社が共同持株会社のもとで完全子会社となることが下記の 4 つの理由により最善であるとの考えに至りました。具体的には、両社が完全に同一グループの会社となることによって、①アクサスが持つ一元化された様々なノウハウを当社店舗に活用するための人員受け入れ、②お客様のニーズにより一層合致した商品供給ネットワークのフル活用、③情報システムの相互利用、及び④当社管理コストの抜本的な削減等が実施できるものと考えます。これらの施策によって企業価値を最大化させることで、当社を含むグループ企業としての更なる発展が可能であると考えております。

2. 本株式移転の要旨

(1) 本株式移転の日程

基本合意書締結取締役会決議日	平成 27 年 4 月 14 日 (火) (本日)
基本合意書締結日	平成 27 年 4 月 14 日 (火) (本日)
定時株主総会基準日	平成 27 年 8 月 31 日 (月)
最終契約（共同株式移転計画を含む）締結取締役会決議日	平成 27 年 10 月 (予定)
定時株主総会決議日	平成 27 年 11 月下旬 (予定)
当社上場廃止日	平成 28 年 2 月 25 日 (木) (予定)
共同持株会社設立登記日 (本株式移転効力発生日)	平成 28 年 3 月 1 日 (火) (予定)
共同持株会社上場日	平成 28 年 3 月 1 日 (火) (予定)

但し、今後手続きを進める中で、やむを得ない状況等が生じた場合には、両社協議の上、日程を変更する場合があります。

(2) 本株式移転の方式及び実質的存続性審査について

当社及びアクサスを株式移転完全子会社、新規に設立する共同持株会社を株式移転完全親会社とする共同株式移転となります。本件については、本年 11 月下旬開催予定の当社及びアクサスの定時株主総会において承認を受ける予定です。本株式移転の検討及び実施については、本株式移転に係る手続全般の公正性を確保すべく、当社及びアクサスから独立した第三者委員会等からの意見等を踏まえながら慎重に進めていくことを予定しております。

共同持株会社は、東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 市場への新規上場を申請する予定であり、上場日につきましては設立日である平成 28 年 3 月 1 日を予定しております。なお、本株式移転により、当社の株式につきましては、平成 28 年 2 月 25 日をもって上場廃止となる予定です。

本株式移転について東京証券取引所が、本株式移転後の当社が実質的な存続会社でないとして認定した場合、東京証券取引所より、本株式移転の効力発生日から実質的存続性の喪失（不適当な合併等）に係る

猶予期間入りが見込まれる旨が公表される場合がありますが、その場合には、遅滞なくその旨を公表いたします。

猶予期間に入った後も共同持株会社株式の上場は引き続き維持され、本株式移転の効力発生日の属する事業年度の末日から3年を経過する日（平成31年8月31日）までに共同持株会社株式が新規上場審査基準に準じた基準に適合すると認められた場合には、猶予期間から解除されることとなります。しかしながら、3年間の猶予期間内に、東京証券取引所による基準に適合しない場合には、共同持株会社株式は上場廃止となる可能性があります。

共同持株会社は、東京証券取引所が定める新規上場審査基準に準じた基準に適合すると認められるための審査を受ける予定であり、当該基準に適合すると認められるよう、万全の体制で準備を行ってまいります。

(3) 本株式移転に係る割当ての内容

本株式移転に係る割当ての内容並びにその算定根拠等につきましては、今後実施する第三者算定機関による評価等を踏まえ、今後、両社で協議の上、最終契約（共同株式移転計画を含む）の締結に係る取締役会決議日までに決定する予定です。

(4) 本株式移転に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

株式移転完全子会社となる当社及びアクサスは、いずれも新株予約権及び新株予約権付社債を発行していないため、該当事項はありません。

(5) 利益相反を回避するための措置

アクサスは当社の発行済株式総数の32.14%（平成27年2月28日現在）の株式を保有しております。当社は、上記の資本関係にあることから、利益相反を回避するため、以下の措置を講じております。

当社は本基本合意書締結に係る取締役会決議においては、当社の取締役のうち、アクサスの代表取締役を兼務している久岡卓司並びにアクサスの使用人を兼務している松本隆央及び鎌田雅人は、利益相反の疑い回避の観点から、その審議及び決議に参加していません。

なお、上記の観点から、久岡卓司、松本隆央及び鎌田雅人は当社における本基本合意書の締結に関するその他の審議及び決議にも参加しておらず、当社の立場においてアクサスとの協議・交渉には参加していません。

上記の当社の取締役会は、上記の観点から審議及び決議に参加していない取締役を除く当社取締役全員の一致で当該決議を行っており、監査役全員が、当社取締役会が本基本合意書締結を決議することにつき異議がない旨の意見を述べております。

また、本基本合意書の締結に関し、当社独立役員である取締役の北村康央より、本基本合意書締結に係る取締役会決議に関し、現時点において当社少数株主保護の観点から特段の問題は認められない旨の意見を頂いております。

3. 本株式移転の当事会社の概要

(1) 名 称	株式会社雑貨屋ブルドッグ	アクサス株式会社
(2) 所 在 地	静岡県浜松市中区鴨江2丁目57番28号	徳島県徳島市山城西4丁目2番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 久岡 卓司	代表取締役 久岡 卓司
(4) 事 業 内 容	ファッション雑貨のトータル販売	化粧品、生活雑貨、スポーツギア、アウトドアギア、酒類等の小売及び酒類、化粧品等の輸入卸
(5) 資 本 金	2,067 百万円 (平成27年3月31日現在)	900 百万円 (平成27年3月31日現在)
(6) 設 立 年 月 日	昭和51年10月8日	平成18年4月3日

(7) 発行済株式数	10,260,500株(自己株式含む) (平成27年3月31日現在)	2,000,000株 (平成27年3月31日現在)																																																																																
(8) 決算期	8月	8月																																																																																
(9) 従業員数	(単体)125名 (平成27年3月31日現在)	(単体)219名 (平成27年3月31日現在)																																																																																
(10) 主要取引先	アクサ株式会社 スケーター株式会社 株式会社ドウシヤ	株式会社P a l t a c 美津濃株式会社 株式会社萬梅林堂																																																																																
(11) 主要取引銀行	株式会社静岡銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行	株式会社阿波銀行 株式会社四国銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行																																																																																
(12) 大株主及び持株比率	アクサ株式会社(32.14%) 内山 聖人(6.46%) 内山 多希子(3.80%) 内山 司世(3.80%) ビービーエイチ フォー フィデ リテイー ロープライズド ス トック ファンド(3.42%) (平成27年2月28日現在)	久岡 卓司(100.00%) (平成27年2月28日現在)																																																																																
(13) 当事会社間の関係	<table border="1"> <tr> <td>資本関係</td> <td>アクサ株式会社は当社の発行済株式総数の32.14%を保有しております。</td> </tr> <tr> <td>人的関係</td> <td>アクサ株式会社の代表取締役が当社の代表取締役であり、他2名の取締役がアクサ株式会社の使用人であります。平成27年4月14日現在、上記役員以外に6名の出向者を受け入れております。</td> </tr> <tr> <td>取引関係</td> <td>当社とアクサ株式会社の間には、商品の仕入等の取引関係があります。</td> </tr> <tr> <td>関連当事者への該当状況</td> <td>アクサ株式会社は当社のその他の関係会社であり、関連当事者に該当いたしません。</td> </tr> </table>		資本関係	アクサ株式会社は当社の発行済株式総数の32.14%を保有しております。	人的関係	アクサ株式会社の代表取締役が当社の代表取締役であり、他2名の取締役がアクサ株式会社の使用人であります。平成27年4月14日現在、上記役員以外に6名の出向者を受け入れております。	取引関係	当社とアクサ株式会社の間には、商品の仕入等の取引関係があります。	関連当事者への該当状況	アクサ株式会社は当社のその他の関係会社であり、関連当事者に該当いたしません。																																																																								
資本関係	アクサ株式会社は当社の発行済株式総数の32.14%を保有しております。																																																																																	
人的関係	アクサ株式会社の代表取締役が当社の代表取締役であり、他2名の取締役がアクサ株式会社の使用人であります。平成27年4月14日現在、上記役員以外に6名の出向者を受け入れております。																																																																																	
取引関係	当社とアクサ株式会社の間には、商品の仕入等の取引関係があります。																																																																																	
関連当事者への該当状況	アクサ株式会社は当社のその他の関係会社であり、関連当事者に該当いたしません。																																																																																	
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決算期</th> <th colspan="3">(株)雑貨屋ブルドッグ(連結)</th> <th colspan="3">アクサ(株)(単体)</th> </tr> <tr> <th>平成24年 8月期</th> <th>平成25年 8月期</th> <th>平成26年 8月期</th> <th>平成24年 8月期</th> <th>平成25年 8月期</th> <th>平成26年 8月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>純資産</td> <td>10,930</td> <td>7,632</td> <td>1,613</td> <td>754</td> <td>1,736</td> <td>1,675</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td>16,191</td> <td>13,246</td> <td>6,276</td> <td>9,362</td> <td>12,654</td> <td>12,559</td> </tr> <tr> <td>1株当たり純資産(円)</td> <td>1,065.51</td> <td>743.99</td> <td>157.26</td> <td>419.40</td> <td>964.49</td> <td>931.07</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>11,257</td> <td>9,122</td> <td>6,342</td> <td>4,984</td> <td>15,088</td> <td>14,580</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>170</td> <td>△2,332</td> <td>△4,665</td> <td>61</td> <td>281</td> <td>286</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>196</td> <td>△2,240</td> <td>△4,694</td> <td>△68</td> <td>300</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>△169</td> <td>△3,249</td> <td>△4,829</td> <td>△26</td> <td>977</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>1株当たり当期純利益(円)</td> <td>△16.48</td> <td>△316.78</td> <td>△470.75</td> <td>△14.52</td> <td>543.18</td> <td>61.17</td> </tr> <tr> <td>1株当たり配当金(円)</td> <td>5.00</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100.00</td> <td>6.00</td> </tr> </tbody> </table>						決算期	(株)雑貨屋ブルドッグ(連結)			アクサ(株)(単体)			平成24年 8月期	平成25年 8月期	平成26年 8月期	平成24年 8月期	平成25年 8月期	平成26年 8月期	純資産	10,930	7,632	1,613	754	1,736	1,675	総資産	16,191	13,246	6,276	9,362	12,654	12,559	1株当たり純資産(円)	1,065.51	743.99	157.26	419.40	964.49	931.07	売上高	11,257	9,122	6,342	4,984	15,088	14,580	営業利益	170	△2,332	△4,665	61	281	286	経常利益	196	△2,240	△4,694	△68	300	135	当期純利益	△169	△3,249	△4,829	△26	977	110	1株当たり当期純利益(円)	△16.48	△316.78	△470.75	△14.52	543.18	61.17	1株当たり配当金(円)	5.00	—	—	—	100.00	6.00
決算期	(株)雑貨屋ブルドッグ(連結)			アクサ(株)(単体)																																																																														
	平成24年 8月期	平成25年 8月期	平成26年 8月期	平成24年 8月期	平成25年 8月期	平成26年 8月期																																																																												
純資産	10,930	7,632	1,613	754	1,736	1,675																																																																												
総資産	16,191	13,246	6,276	9,362	12,654	12,559																																																																												
1株当たり純資産(円)	1,065.51	743.99	157.26	419.40	964.49	931.07																																																																												
売上高	11,257	9,122	6,342	4,984	15,088	14,580																																																																												
営業利益	170	△2,332	△4,665	61	281	286																																																																												
経常利益	196	△2,240	△4,694	△68	300	135																																																																												
当期純利益	△169	△3,249	△4,829	△26	977	110																																																																												
1株当たり当期純利益(円)	△16.48	△316.78	△470.75	△14.52	543.18	61.17																																																																												
1株当たり配当金(円)	5.00	—	—	—	100.00	6.00																																																																												

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

なお、当社は平成26年4月1日付で連結子会社である株式会社商研を吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、平成26年8月期は当社単体の業績となります。

また、アクサの平成24年8月期決算につきまして、決算日を3月末日から8月末日に変更したことに伴い、平成24年4月1日から平成24年8月31日における5ヶ月間の業績となります。

4. 株式移転設立完全親会社の状況

(1) 名 称	アクサスホールディングス株式会社
(2) 所 在 地	徳島県徳島市（予定）
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 久岡 卓司（予定）
(4) 事 業 内 容	化粧品、生活雑貨、スポーツギア、アウトドアギア、酒類等の小売及び酒類、化粧品、ファッション雑貨等の輸入卸等を行う子会社の経営管理及びそれに付帯又は関連する事業等
(5) 資 本 金	現時点では確定していません。
(6) 決 算 期	8月（予定）
(7) 純 資 産	現時点では確定していません。
(8) 総 資 産	現時点では確定していません。

株式移転設立完全親会社の役員構成、組織等につきましては、今後、両社において経営統合に関する協議を行い、最終契約締結までに決定いたします。

5. 会計処理の概要

本株式移転に伴う会計処理の概要は、企業結合会計基準における「取得」に該当し、パーチェス法を適用することが見込まれております。詳細な会計処理につきましては確定次第お知らせいたします。

6. 今後の見通し

本株式移転により新たに設立する共同持株会社の経営方針、計画及び業績見通し等につきましては、今後両社で検討していき、確定次第お知らせいたします。

今後のアクサスとの本株式移転に係る協議及び最終契約締結に際して、公正性を担保するための措置として、過去においてアクサスと人的関係、取引関係及び出資関係のない独立した者を構成員とする第三者委員会を発足し、本株式移転に関する意見書を入手する予定です。また、同じく公正性を担保するための措置として、当社及びアクサスから独立した第三者による株式移転比率に関する算定書を入手する予定です。さらに、利益相反を回避する観点から、アクサスの代表取締役を兼務する久岡卓司並びにアクサスの使用人を兼務する松本隆央及び鎌田雅人は、当社の立場において本株式移転に関する協議・交渉について引き続き参加いたしません。

なお、当社は、本日併せて公表いたしました「経営合理化の取り組みおよび特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、経営合理化に伴う「閉店損失」、「減損損失」及び「賃貸借契約解約損」が発生しております。それらに今後実施予定の合理化策に係る損益を織り込んだ結果といたしまして、本日公表いたしました「第2四半期累計期間における業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」における「2. 平成27年8月期通期業績予想数値の修正（平成26年9月1日～平成27年8月31日）」の業績となる見通しです。

以 上